

1 会議名

令和4年度 第2回 阿賀野市環境審議会

2 開催日時

令和5年1月11日(水) 午後2時から午後4時20分

3 開催場所

阿賀野市役所「303会議室」

4 出席者(傍聴者を除く。)の氏名(敬称略)

- ・委員:及川 紀久雄、田辺 正明、清水 明子、波多野 千代、岩浪 春輝、伊藤 浩、
渡邊 景子、(8人中 7人出席)、小泉 豊信(欠席)
- ・事務局:権瓶市民生活課長、小野市民生活課長補佐、三留室長、中山係長
- ・コンサルタント:(市受託業者～株式会社中部設計):峯木環境部次長、十二町新潟支店長代理

5 議事

- (1) 阿賀野市環境基本計画の素案について(公開)
- (2) 阿賀野市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)の素案について(公開)

6 非公開の理由

なし

7 傍聴者の数

なし

8 発言の内容(以下より)

開会 事務局

開会の挨拶 及川会長

本日の会議は、阿賀野市審議会等の会議の公開に関する要綱第2条の規定により、公開とする旨を告げる。次に、傍聴者はないことを確認する。会議中は、録音すること、議事録或いは議事内容については後日公開し、阿賀野市のホームページ等で掲載することの了承を得る。

議 事

1) 阿賀野市環境基本計画の素案について

■及川会長

それでは早速進めさせていただきます。最初の審議事項としまして、阿賀野市環境基本計画素案

ということで、ご説明をお願いいたします。

○事務局（中山係長）

—阿賀野市環境基本計画の素案について説明をする。—

■及川会長

今、ご説明頂きました、ここで23ページまでですが、この間で皆様方から何かご質問、ご意見いただければありがたいです。いかがでしょうか。

■波多野委員

8ページの阿賀野市のところで、海がないところだから瓢湖はとても大事な位置付けになるのではないかと思います。これを外して別にするということですか。

○事務局（中山係長）

前計画の時に、基本的な環境施策とプラスで五頭山と水辺の環境である瓢湖、それと農地を三つの大きな柱として、それぞれを少し特化するような形で阿賀野市の環境問題、産業政策という形でアプローチをしましたけれど、自然環境というのはもちろん大事であります、地球温暖化やごみの減量化を進め、狭いエリアだけでなく地球全体、我々の生活自体を見直す政策が求められていることもあります。

この10年は我々の本来の業務を主に評価の対象にしてやっていく。ただ瓢湖は外せないと考えます。

■波多野委員

前回のお話では瓢湖湖底の汚泥については問題がある。汚泥をすくうお金がなく苦慮しているご意見がありました。瓢湖を守る人たちが困窮しているのであれば、瓢湖は象徴的であるから、行政がもっと力を入れてあげる必要があると思います。

○事務局（中山係長）

今のお話で、今回欠席されている小泉先生が瓢湖の白鳥を守る会で、さまざまな活動の支援を頂いている。実際に、その瓢湖自体の管理は市の所有管理で公園管理事務所という別の部署が行っている。どちらかと言うと、観光的な面が強い部署になります。そちらには職員も常駐してまして瓢湖の管理も行っています。ご指摘があった瓢湖の水質保全は市の職員も一緒に行っている。先程の資料があった白鳥の飛来数など基本的に調査はその部署が行い、小泉先生方にご協力を頂いている。管理をしないということではありません。ソフト事業や普及啓発とか、それを観

光につなげる施策がラムサール条約ブランドという話です。地域おこしで瓢湖の名前を付けて何かを作りますというソフト的な計画が強いと思います。

■波多野委員

力のかけかた方が違ってきているということですか。

○事務局（中山係長）

先日、小泉先生が仰っていたように瓢湖の周辺から水が入ってきます。河川環境をどうするかという施策が必要であり、瓢湖の周辺の整備を行っていかねばいけないと考えております。

■及川会長

説明が長くなってご理解いただけましたか。

■波多野委員

瓢湖の管理にお金がなくて困っているというお話があったのでそれが気になっておりました。瓢湖は、観光の目玉っていうふうに認めているところだから、それは行政も民間も一生懸命やっけて盛り上げていかねばならないと思っておりました。

■及川会長

行政も予算がありませんからね。

○事務局（中山係長）

瓢湖の浚渫をなかなか予算化できないという話を聞いております。

■及川会長

議論を進めます。その他ご意見ございませんか。

■岩浪委員

只今のやり取りの中で、前計画では瓢湖をクローズアップして、今計画はそれをならして、地球温暖化の方を厚めにするというふうに私には聞こえました。そういうことですか。

○コンサルタント

アンケート調査から見ると…。

■岩浪委員

アンケート結果に基づいてという話と阿賀野市がどう考えるか。阿賀野市がそれでいいのであればそれでいいです。阿賀野市がアンケートの結果で市民の声を尊重しますということであればその方向で、どの道幅広に施策を行う訳ですから。ここで何をアピールするかというところで地

球温暖化をどうやるのか、阿賀野市の特徴である五頭山と瓢湖は残してもう一山作るのか、どうですかというのが私の考えです。

■田辺副会長

瓢湖には、生態系保護の指標となる象徴種である白鳥が生息しています。

それを守ることによって皆さんが自然を大切にする。そういう発想が出てくる。

そういう意味でアンケートではあまり要望ないとは別に、阿賀野市の環境保全の象徴として、ここを綺麗にして行けば市民の皆さんに環境意識が波及、向上してくるという発想も必要ではないかと思います。

今回、小泉委員がいらっしゃらないので、代弁させていただきますといろいろと取り組みをしていた。白鳥を守る会としてオニバスを囲って守り、或いは、阿賀野市さんが行ったかどうか分かりませんが昔は、水質改善装置のようなものをいろいろ工夫して実施していました。

最近は全くそういったことを行わず、公園整備が主になっているようです。

いい水を入れる政策、水利権を取って瓢湖に水を入れるという施策、前副会長の関川さんもお話しておりました。

私は瓢湖だけでなく全体的にやるのがいいのではないかと思います。安田地区、笹神地区、水原地区、京ヶ瀬地区がある訳ですから、各地区を比較しながら阿賀野市はきちんとやっていますよってというメッセージが出せるような取り組みをやられた方が、市民に対して阿賀野市は頑張っているアピールになると思います。

■及川会長

はい。ありがとうございました。

非常に貴重なご意見を頂きました。阿賀野市と基本計画そのものと別かもしれませんが、環境政策をどういう形で行うか考えなければならない。

そうすると、農業の分野も入ってきます基本計画の中でそれで行くのか、それとは別なところで行くのか、きっちりとその辺を考えなければならない。それから最近聞こえませんが、笹神を中心とした有機農業というのは非常に盛んで、その笹神地域の有機野菜は全国的に評価も高かった。その辺の話も最近あまり聞こえてこなくなった。いろんなことがあると思います。

だから、基本計画は基本計画ですけれども、そういう中でいかにしてこの基本計画を作成するか、何もクリーン報告書を出すために作っている訳じゃなく、いかにしてこの阿賀野市地域の環

境を良い方向に、課題があるところはいかにして改善するか、それが本当の環境基本計画になるかもしれません。

だから、環境計画の副読本的な形でもいいのかもしれませんが、どういう形でそれを展開するかはまた改めて検討しなければなりません。だから、五頭山と瓢湖だけということではなく、笹神は有機野菜ということ全国的に評価が高かった。

余計なことを言いましたが、阿賀野市の有機野菜を子供たちの学校給食を進めていく政策、千葉県のいすみ市のようにやれば阿賀野市の大きな評価になるだろうと思います。いろんな意味で環境政策があると思います。渡辺委員何かありますか。

■渡辺委員

有機農業でいうならば朱鷺の関係で佐渡が早く始めている。あそこはドジョウが必要です。ドジョウは農薬を使うといなくなってしまう。有機栽培をやっていて、それが学校給食になっている。新潟県では有機は佐渡というのが先行しています。

新発田も学校給食に有機野菜をとということを市長さんがお話になっている。他の地域では、例えば長野ですとお母さんたちが一生懸命で北海道もそうですけれども、ぜひ阿賀野市も負けないうでやって頂きたい。一生懸命やって頂いて、何か変な横槍を入れるみたいですが前回、田辺副会長から小水力発電について、もっと説明をしたらどうですかとお話がありましたのでお時間を頂きたい。

大荒川という県民憩いの森のところに昔ダムがありました。皆さんご存知でしょうか。二つありまして、新潟ネットというところが大荒川のダムで水力発電を持ってきました。勝屋地区に電線を引いて電気をあげますというお話になった時に、電線で伝染病が来るっていうふうに皆思っていて、それでいらないというお話になりました。

その後、電気はいいとのお話があったので、小さい自家用の発電機を設置したところもありました。調べてみますと、あの頃は全国的に自家消費の発電が流行した時代で、今でもその発電機は、フランスとかスパイラルとかいろいろな種類があって、今でも農業用水路にやりたいという声が結構あります。

ポツンと一軒家という番組を皆さんご覧になったことはありますか。家の裏で電気を起こしている。意外と簡単そうだなっていうふうに思いますが、あれみたいな感じでそんなに難しくはなさそうです。今でも農業用排水路に設置してという声がある。それは、必要な水量とか降水量と

か、最大流量を計算して、もしも溢れた場合にその水を流すもう一本の水路を作らなくてはならない。なかなか緻密な計算が必要になります。発電機を利用し発電を行うのは、キャンプがすごく盛んですので高価ではないようです。私達が一番よく使うのは洗面所で、手をかざすと水が出る、赤外線の手洗いは実は水量で電気を起こし、それを蓄電する仕組みを作っているそうで、私達は結構そういう恩恵を受けていると思いました。

最近増えているのは、例えば村の農産加工場の電気だけを賄うとか、100軒ぐらいの集落だったら十分にできる、そういう小発電が増えています。なぜかっていうと地球温暖化対策というものもありますし、電気が売れるっていうふうなことで、すごく飛躍的に伸びてきた。農林水産業には相談窓口もあるのですけれども、費用が3億円ぐらいかかるのと、地域全体ですからすごいリーダーが必要だと。

ただイメージアップにも繋がりますから、私が調べた2010年ぐらいで、1年に80ヶ所ぐらいずつ増えているというのがありました。

新潟県の場合は、構造水力量で見れば、全国4位で岐阜・富山・長野の次に新潟県。それはなぜかということもちろんその信濃川と阿賀野川であるということです。

すぐに水力発電をやりたいという話ではないのですが、裏の方でちょっとやりたいという相談がありましたら、市役所にまず相談に来ると思うのでそのような資料を揃えておいて相談に乗ってあげたらいいと思いました。

■及川会長

ありがとうございました。いろんなご提案を頂きました。私も津南町で発電機を設置して施設の電気にかかわったこともあります。小水力発電は大変です。市や町の職員が発電のための勉強をしなければならない。

■波多野委員

基本計画が計画の位置付け、目標年度とあった次にSDGsとコロナ関係とかあり、その次にまた、環境基本計画策定の流れがある。ここにわざわざこの二つをはさむのはどういうお考えでしょうか。逆にもう少し後ろの方がいいのかなというのと、これから10年の計画ということであれば、ニーズは載せなければならないですし、プラ新法が去年の4月にできました。すべていろいろなことを持続可能とし、一番上に自家消費っていうのがあるということで自家消費を考えながら消費活動を経ていくというようなことがありますので、もしそういうことを載せるのであれば、順序がどうなのかなと思いました。

■及川会長

今のお話は全体の流れになってくることですから、一応ご説明が終わってから総合的に話した方が、話が整理しやすいと思います。

もう少し説明を聞いて、その中で進めてみたいと思いますが問題ございませんか。

○事務局（中山係長）

—阿賀野市環境基本計画の素案について（24ページ以降を）説明をする—

■及川会長

すみません、あっちこっちへの説明で皆さんもページを探すだけで大変ですので、その施策の事項もありますのでイメージを持って話された方が分かり易いと感じます。

特にしっかりと話さなければならないことは、時間を掛けなければならない。要点を説明しないと進行しませんのでお願いします。

○事務局（中山係長）

—阿賀野市環境基本計画の素案について（続きを）説明をする—

■及川会長

ありがとうございました。何かご質問ありますか。ただ時間の関係で次の計画の説明に入れそうもない状況によりますけれども。

■岩浪委員

今施策の説明をされていましたが、私も行政機関ですので、施策は全部の部署ですべて大事なはず。これに対して、先程、私が申し上げた話で前段はまずアンケートがあります。市民の意向という形で示されました。確かに五頭山とか瓢湖に関しても大事である意見は下がっていますが、それで阿賀野市としては、アンケートに従いますとか、やっぱり五頭山、瓢湖は市のシンボルなので、ここは力を入れますという意志がどちらなのですかということです。今どき、SDGsや地球温暖化すべて前面に出して意識をしなきゃいけない、だから、こういうまとめ方にされたと思います。まずSDGsがあります、この施策はこういう課題です。今あるものを並べた訳ですよね。各部局にとっては大事ですけど、市としてどこに重きを置くのかを説明して頂いたらいいと思います。私は個々の施策に対して、これはいいのではないかと、あれはいいのではないかと、これをもっとやってくれという話をこの場でしても、市としては多分飲めないはずですよ。また、止めるというのも無理だと思います。

どこに重きを置いて欲しいかというのは、皆様が先程からいろいろおっしゃっていると思います。

■及川会長

いろいろとありますね。これはかなり議論しないといけない。この場で審議終了し、その案のとおりという訳にはいかないだろうと思います。それからもう一つ、SDGsは2030年まで完結しなきゃいけないものでなかったでしょうか。

■(認識不明)

そうです。

■及川会長

そうですね。10年計画ですがSDGsは2030年までです。これSDGsとして、ここをこういうふうに完結します。これどうやって進めたらいいのか。皆さんが今日資料をご覧になった方もいらっしゃるし、少しご意見を皆さんから頂いて終わりましたではなく、皆さんからさらに意見を頂いて、それで次回に別に時間を取った方がいいでしょう。

皆さんもまだ時間ありますからご覧になられて、ご意見をいろいろされて、先ほどいろいろ課題になった、五頭山と瓢湖、田園という項目については随所にもられておりますので、どこをどう、ただ羅列的に入っています。

■波多野委員

基本計画としても、この実施する段階で私達やっぱりいろんな意見を出したいと思っていました。関連がさらりと書いてあるけれども、後にきちっとこういうふうにしますよっていうふうに、追記して具体的に書いてあってそのことに関して私達も、こういうふうにしたらいいいじゃないかとかいう意見ができると思います。

■及川会長

いずれにしろ今回で、審議を終了しましたという訳にはいかないと思います。

それで、これは事業を年度内ということだろうと思いますけれども、これは役所的には3月31日ですけれども報告書的には5月、連休明けぐらいの感じでやらざるをえないだろうと思います。

2月に入って改めて審議会を開催して残った時間で、温暖化計画のポイントをご説明頂いて次回にすべて持ち越さないといけないと思います。

これから残り時間をご説明頂いても無理だろうと思います。

どうでしょう、皆さんのご了承を頂き残り30分ぐらいで温暖化について、今後提出する場合は、概要版をまず作ってそれに基づいて、この件については何ページでありますから、皆さん、ご覧

くださいと、そのポイントだけ説明していくという、そういう形にして頂かないとやはり概要版を作らなきゃいけないと思います。これだけのボリュームになりますと、皆さんにご理解いただければ、もう1回お願いしたいと考えます。

○事務局（三留室長）

今回で最後という訳ではございません。今回、皆さんから意見を頂いたのを再度内部で内容も含めまして調整してパブリックコメントを提出する前に、皆さんにもう一度ご覧いただくような形で考えていました。そのような形でよろしいでしょうか。

■及川会長

ありがとうございます。

皆さんからどんどんとメールでもお手紙やファクスなどでご意見を頂いて、それを整理され、次回にそれを含めてポイント整理し概要版を作成する。

○事務局（三留室長）

皆さんもいろいろとご用事があるかと思うしますので書面等で皆さんにまずお示しして、それから、進めたいと思いますけれども、よろしいでしょうか。

■及川会長

よろしいですね。

○事務局（権瓶課長）

大変些末な説明でまとめ切れず、大変ご迷惑をお掛けして申し訳ありませんでした。

それで先ほど会長の方からご提案がありましており、この内容で審議終了とは私も全く思っていないです。

スケジュール的なところで令和4年度の事業の予算で我々動いており、4年度中に基本的には完結を前提の事業であります。

これからの進め方について、皆様、お忙しい中で審議会にお集まりいただくというところもご負担に当然なところでありますので、修正を行い書面等で、皆さんの方に意見を頂き、先ほど会長がおっしゃったような形で調整をさせて頂き、我々内部で調整させて頂いて、それも踏まえてまた情報提供したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

■及川会長

分かりました。非常に厳しい予算の事業としては、3月31日で締め切りになるけれども、実質

的には若干遅れてもやむを得ないという状況になるかもしれません。

それまで、全部審議が終わって、これでOKとなればよろしいですけど、やはり10年計画を作る訳で、SDGsだけは2030年で終わりです。SDGsは、そこだけはちゃんとしておいてください。お願いいたします。

それでは、ちょっと短い時間ですけども、温暖化実行対策実行計画のご説明して頂きたいと思います。

2) 阿賀野市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の素案について

○事務局（三留室長）

—阿賀野市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）の素案について説明をする—

■及川会長

はい。ありがとうございました。

今日この二つの計画についてご説明を頂きました。これは改めて審議するとしてしまして、ご意見いただけますでしょうか。

■田辺副会長

地球温暖化対策実行計画の説明を頂きました内容については、それぞれ専門的に書かれていて、すべて理解するということはできないのですが、全体的な感じとしては基本目標を立てれば、とりあえずいいのかなというふうに進んでいるみたいな気がします。

一方、前回の審議会の中で実際にこの目標を達成しなければいけない。今の説明の中でも目標達成できるのかちょっと分からないような言い方で目標が高いという話がありましたけれども我々審議員の会議の中ではどうやったら達成できるだろうか考える必要があると感じています。

例えば前回の審議会では、ロードマップを作って審議会を定期的にやってPDCAで、計画を立てて実行して、その実行した後のあり方、それで改善して、やり直しをしていかないと目標は達成できないじゃないかという話がでたり、或いは、阿賀野市が作成しても市民がどんな本を作って、どういうことをしなきゃいけなかったのを分からなければ話にならないということを渡辺委員の方から広報のやり方がちょっと考えなければいけないとの意見がありました。私は、もう少し委員会の中で、突っ込んだ話が出てきたと思います。そういった意味で網羅するのは、なかなか

か話が乱雑になり難しいのかもしれませんが、審議会の議事録で確認できます。その中で委員からこういう意見があって、それを阿賀野市はこう考えているのを議事録以外で公にする必要ないですけれども、この委員会の中で先回の審議会でこういうことは、こう考えています、こういうことになりました。実はこうしようと思いますという説明があった方が、結局1人が頑張って説明をしても説明の繰り返しで、先回もありましたけれど、途中でいろいろ考えなきゃいけないことまで行き着いていないような気がします。その辺、少し別冊とか、ただの資料でもいいですけどもそういった、我々がこういうことを言って、こういうふうに検討してこういうふうにしようと思うのですという具体的なものがあると非常に我々としても審議がいがあるというところでは。

■波多野委員

47ページの生活様式や産業構造の大改革とありながら、48ページの最後に教育環境の推進を小さく書いてあるのですけれども、本当に教育の大改革が必要だと思います。

広報の件からも、それから市民に対する環境教育に関しても、相当力を入れなければいけないと感じます。作る責任、使う責任っていうことで、それがあんまり目立ってきていない。環境基本計画の方もあまり目立ってきていませんし、実際に教育を一生懸命行い、SDGsが目標年である2030年まで残りわずか7年ですと表記されています。でも、子供に教育しないと駄目だっていうふうに述べられていますから、学校の方に環境教育の講座を設けるとか、市民の講座を設けるとか、もう少しこう市民の盛り上がるような講座を実施していかないと波が起きてきません。

その辺ちょっと考えて頂けたらと思います。

■及川会長

今のようなご意見をメールなり或いはファクス、お手紙で皆さんから頂きまして、それで持って、また同じようにページをめくりながら説明では、これちょっと審議になりませんので審議になるように、ぜひ進めて頂きたいと思います。SDGsの目標年は2030年、その辺の説明をきちんとしておかなければいけない。皆さん、年度末でお忙しくなりますよね。ですから1月はちょっと無理だろうと思います。修正作業がありますと、2月の半ばくらいに、そうすると皆様からご意見頂くのは、やはり今月いっぱいじゃ遅いだろうと思います。ここ10日以内の間で長いですか。

少なくとも今月末までに頂かないと市の状況もまとめて、コンサル業者さんもその情報を見な

がらこれを作れない。大変でございますので、その辺皆さんしながら、ぜひ積極的にご意見を出して頂ければと思います。

■波多野委員

ページ数と書きやすいようなものをいただければ、そこにどこの何ページがこう思いますとか出ます。

それぞれに書くと行政はこれ読んで理解しなきゃいけないとなっておりますが、何ページのここは、私はこう思いますみたいなのがいいのではないのでしょうか。章とページ数を入れるようにすればよいのではないのでしょうか。

○事務局（三留室長）

ページと内容というか形ですね。

■及川会長

中には非常にいいことが書いています。斜めの中に入っちゃうとそこは消えてしまいますので要するにポイントですね。何をいいたいのかというやつ。これはもちろんですけど、市の総合計画って別にありますよね。総合計画との相互性も取らなきゃいけない。難しいところでいろいろ書かれても。これは実行計画じゃないから財政の予算との調整っていうのはあまりないと思いますので。

○事務局（三留室長）

この計画があるから、市民の方に太陽光発電の補助を出せますよというふうな理由づけにはなりません。

■及川会長

またどこかにも書いてありました、今非常に太陽光発電は効率いいですからね。それから荒れた農地は全部太陽光発電とかも出ていますけれど、そういう農地を生かせる方法検討して頂きたいと思います。皆さん、何かご意見いただければ、渡辺委員よろしいですか。

■渡辺委員

私達も皆アンケートを書いたのですけれども本当に皆さんよく、意外と一生懸命考えているっていうのが分かりました。

何をどうやったらいいのか分からないところがありますので、そういうところの説明を頂きたい。

■及川会長

伊藤委員、学校教育の立場から、いろいろな案が出ておりますけどどうでしょう。

■伊藤委員

こちらに出ている教育費の違いはこれだけあるっていう表があって、この指標はどこどの部分を指標にしているのが分からない。

よく調べていただきたいと思いますし、今の子供たちは、環境というところは授業でもやっているところもあります。市として子供たちに啓発だけでよければそれは協力できるところもあるのですが、新たに環境を現場に持ってこられると、それはそれでまた重荷になってきます。今の教育課程で目いっぱい、先生方がやっているのもそこはご理解して頂きたい。だから、新たに教育ということになるとそれはそれで大変です。例えば年間1時間の時間を取って下さいということとで事業を展開できますということであれば、それは分からなくもないですけど、そんなところで、現場にも負担感がないようにして頂きたいというのが学校サイドの意見になります。

■波多野委員

実際私どもが何う時は、学校の先生が環境授業をやるのだけれども、もう少し後押しして欲しいというようなご希望で私達が45分授業で私も学びましたというような、そういう環境教育出前講座をやっています。だから、学校と行政の両面に近づける接点を活用するということで無理やり一緒に入っていくっていうことは全然ないので、活用して頂ければ逆に先生方に参考になると嬉しいです。

■伊藤委員

そうですね。ありがとうございます。それならば分かります。

■及川会長

清水委員、何かありますか。

■清水委員

今日は、たくさんの資料と、データをご説明して頂きました。本当に環境問題は奥が深いので、難しいですけど、五頭・瓢湖・田園っていうのは、住んでいる阿賀野市民はもちろん、来られる方も大好きな場所であると思うので、環境を壊さず守れていけるそういう指針を次回、協議していけたらいいと思い皆さんのお話を聞かせて頂きました。

■及川会長

ありがとうございました。

それでは一応これで終わりにしますが、委員名簿がここにありますけど、今日出席している方のすべての名簿を書いて頂きますようお願いします。

今日は残念ながら話題に出ていた瓢湖の小泉先生が、欠席でございますので、ぜひ、次回は、こういったように、委員のご出席をたまわれるような日程も調整いただければありがたいと思います。

■伊藤委員

私は環境問題がよく分からないところがあるのですが、例えば世界的にはCO2を売買する話があって五頭山の森林とかっていうのは、その二酸化炭素削減には寄与していないのでしょうか。

質問です。そういったところはCO2削減の計算に入るかどうか知りたいのでお願いします。

■及川会長

いろいろな企業が取り組みをしています。

○事務局（三留室長）

カーボンクレジットのお話だと思いますが、五頭山は国の管轄になるかと思いますので、市の所有であれば可能かもしれませんが難しいと思います。

■及川会長

民有地であれば可能なのでしょうか。

他にございませんか、それでは今日の審議会は一応これで終了いたします。

どうもありがとうございました。

○事務局（三留室長）

長い時間にわたりご審議頂きありがとうございました。先程の審議会の中にもありましたけど、本日皆さんから頂きましたご意見を事務局でまとめまして審議委員の皆様方にお示し、パブリックコメントっていうふうな運びにしたいと考えております。

まず取り急ぎ、今日頂いた意見を基に手直しを行い、皆様には早急に示したいと考えておりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

予定としましては、3月の中頃にパブリックコメント前に審議を頂きたいと考えております。

本日の議事の方はこれですべて終了しました。閉会の挨拶を田辺副会長からよろしくお願い

します。

■田辺副会長

11月の第1回に引き続き阿賀野市のために活発なご意見を頂きありがたいと感じました。

また開会の挨拶で及川先生から、阿賀野市に思い出や知識をお話いただきまして、ありがとうございました。またよろしくお願いいたします。

○事務局（三留室長）

以上で本日の審議会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

9 問い合わせ先

民生部 市民生活課 脱炭素・SDG s 推進室 環境係

TEL0250-62-2510（内線2106）

E-mail:shimin@city.agano.niigata.jp